特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人



の書類記号 2F04115-PCT	今後の手続きについては、様式PCT/	「IPEA/416を参照すること。
国際出願番号 PCT/JP2004/008365	国際出願日 (日. 月. 年) 09.06.2004	優先日 (日.月.年) 09.06.2003
国際特許分類(I P C)Int.Cl. ⁷ H04L29/08	8	
出願人 (氏名又は名称) 松下電器産業株式会社		
1. この報告書は、PCT35条に基づき 法施行規則第57条 (PCT36条) の	この国際予備審査機関で作成された国際予 の規定に従い送付する。	
2. この国際予備審査報告は、この表紙を	を含めて全部で 5 ページ	ジからなる。
3. この報告には次の附属物件も添付される。 ✓ 附属書類は全部で2		
▽ 補正されて、この報告の基 囲及び/又は図面の用紙(礎とされた及び/又はこの国際予備審査も PCT規則 70. 16 及び実施細則第 607 号を	幾関が認めた訂正を含む明細書、請求の範 注照)
第 I 欄 4 . 及び補充欄に示 国際予備審査機関が認定し	したように、出願時における国際出願の た差替え用紙	開示の範囲を超えた補正を含むものとこの
b. 電 子媒体は全部で		(電子媒体の種類、数を示す)。
配列表に関する補充欄に示す。 ブルを含む。(実施細則第 80	ように、コンピュータ読み取り可能な形式 2 号参照)	による配列表又は配列表に関連するテー
4. この国際予備審査報告は、次の内容を		

国際予備審査の請求書を受理した日 15.12.2004	国際予備審査報告を作成した日 19.04.2005		
名称及びあて先	特許庁審査官(権限のある職員)	5 X	8838
日本国特許庁(I PEA/JP) 郵便番号100-8915	矢頭 尚之		
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	電話番号 03-3581-1101 内緒	泉 35	9 6

第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成

▼ 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付

▶ 第Ⅰ欄 国際予備審査報告の基礎

けるための文献及び説明

■ 第11個 新規性、進歩性又は ■ 第1V欄 発明の単一性の欠如

第VI欄 ある種の引用文献 ▼ 第VI欄 国際出願の不備

第2個 国際出願に対する意見

第Ⅱ欄 優先権

第I欄	報告の基礎				
1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。					
Г	この報告は、 語による翻訳文を基礎とした。 それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。 PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査 PCT規則12.4にいう国際公開 PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査				
2. この た差替え	報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出され L用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)				
r	出願時の国際出願書類				
V	明細書				
	第 1 - 8 、 1 0 - 2 3 ページ、出願時に提出されたもの 第 9 ページ*、1 5 . 1 2 . 2 0 0 4 付けで国際予備審査機関が受理したもの				
	第 ページ*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの				
V	請求の範囲				
	第 <u>1、3</u> 項、出願時に提出されたもの				
	第				
	第				
┍	図面				
,•	図面 第 <u>1−14</u> ページ ✓図 、 出願時に提出されたもの				
	第 ページ/図*、				
	第 ページ/図*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの 第 付けで国際予備審査機関が受理したもの				
T	配列表又は関連するテーブル				
	配列表に関する補充欄を参照すること。				
2 II	補正により、下記の書類が削除された。				
3. į	他ににより、下記の音類が削除された。				
	明細書 第 ページ				
	マ 請求の範囲 第 2 、 4 項 図面 第 ページ/図				
	配列表 (具体的に記載すること)				
	配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)				
4. 「	この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。 (PCT規則 70.2(c))				
	明細書 第 ページ				
	請求の範囲 第				
	RM表 (具体的に記載すること)				
	配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)				
* 4.	* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。				

第IV欄 発明の単一性の欠如

1.	1. 請求の範囲の減縮又は追加手数料の納付の求めに対して、出願人は、				
	「 請求の範囲を減縮した。				
	Г	追加手数料を納付した。			
	Γ	追加手数料の納付と共に異議を申立てた。			
	Γ	請求の範囲の減縮も、追加手数料の納付もしなかった。			
2.	2. 「 国際予備審査機関は、次の理由により発明の単一性の要件を満たしていないと判断したが、PCT規則68.1の規定に従い、請求の範囲の減縮及び追加手数料の納付を出願人に求めないこととした。				
3.	Œ	国際予備審査機関は、PCT規則 13. 1、13. 2 及び 13. 3 に規定する発明の単一性を次のように判断する。			
	V	満足する。			
	Γ	以下の理由により満足しない。			

4. したがって、国際出願の次の部分について、この報告を作成した。

▶ すべての部分

請求の範囲___

に関する部分

特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP2004/008365

見解		
新規性(N)	請求の範囲 1、3	有
	請求の範囲	無
進歩性(IS)	請求の範囲 1、3	有
	請求の範囲	無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 1、3	有
	請求の範囲	#

文献1: JP 2000-022744 A (株式会社東芝)

2000. 01. 21

文献2: JP 60-223351 A (株式会社リコー)

1985. 11. 07

請求の範囲1、3に係る発明は、先の国際調査報告に引用されたいずれの文献にも記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。

特許性に関する国際予備報告	国際出願番号 PCT/JP2004/008365	
第VII欄 国際出願の不備		
この国際出願の形式又は内容について、次の不備を発見した。		
請求の範囲3の末尾に「請求範囲1記載の」。	とあるが、「請求の範囲1記載の」が正	
	·	
·		
	•	
•		